

指揮者

整列が完了したら、「気をつけ、わかれ」と号令し、隊員の敬礼を待って答礼（挙手の敬礼）し、直ちに手をおろす。

1番員

1番員及び2番員は、集合線に集合し、自主整頓を行った後、「休め」の姿勢で待機する。

指揮者の「気をつけ、わかれ」の号令で姿勢を正して挙手敬礼を行い、指揮者が手をおろすのを待って手をおろす。

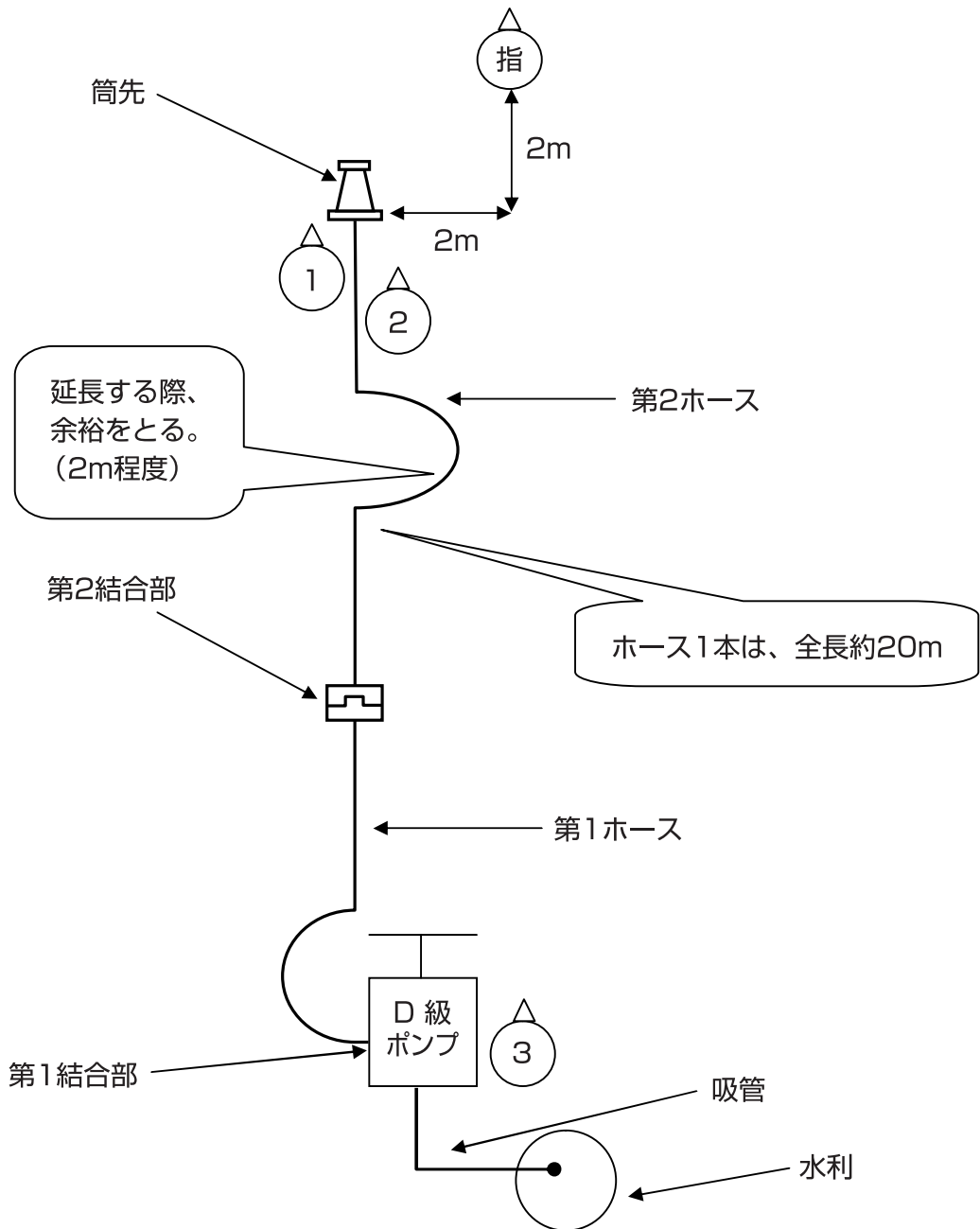
2番員



# D級ポンプ操法（4名操法）

## 1 人員、資器材及び水利等

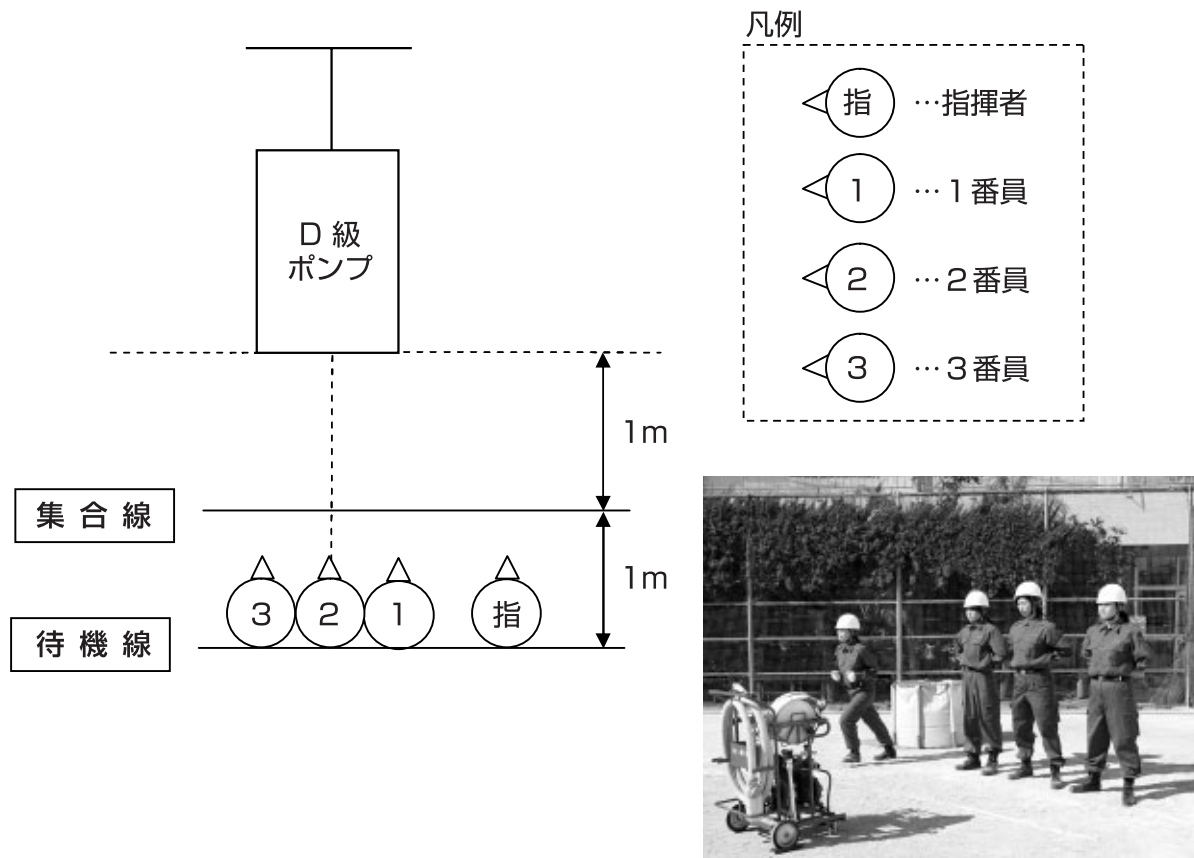
- (1) D級ポンプ操法（4名操法）に必要な人員は、指揮者1名、隊員3名とする。
- (2) D級ポンプを台車に積載した状態から操法を開始する。
- (3) 資器材は、二重巻きホース2本、筒先、吸管等を使用する。
- (4) 水利は、D級ポンプ(吸口側)から概ね2mの位置で、吸管を伸長しストレーナー部が水利に投入できる位置とする。
- (5) ホース延長及び吸管延長は次のとおりとする。



D級ポンプ操法（4名操法）

## 2 待機、集合及び点呼

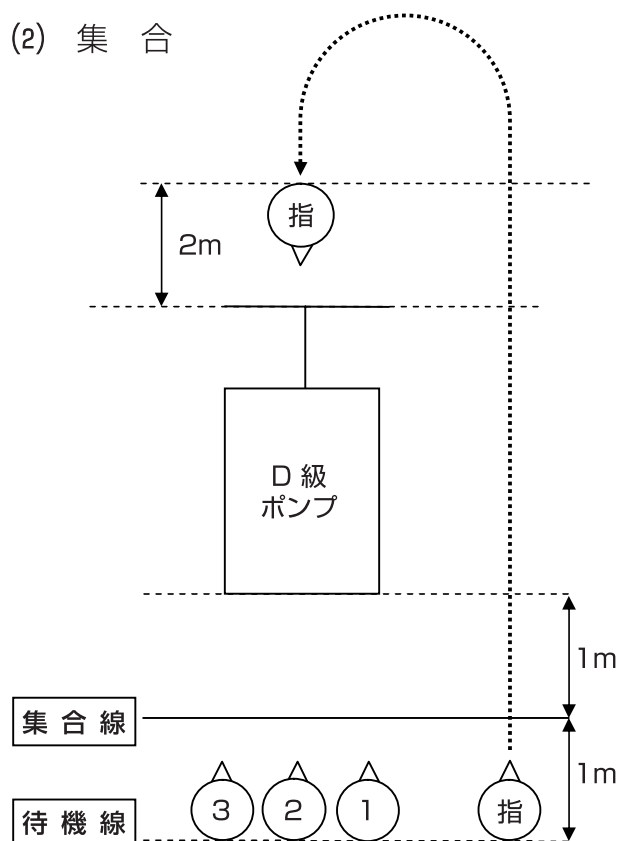
### (1) 待機



指揮者、1番員、2番員及び3番員は、集合線の後方1mの位置（待機線という。）で自主整頓を行った後、休めの姿勢で待機する。

指揮者の位置は、1番員から右側に1歩離れた位置とする。

## (2) 集 合



指揮者は、待機位置からポンプの右側を通り、ポンプの前方2mの位置で左に回り込んで、隊員に正対して姿勢を正す。

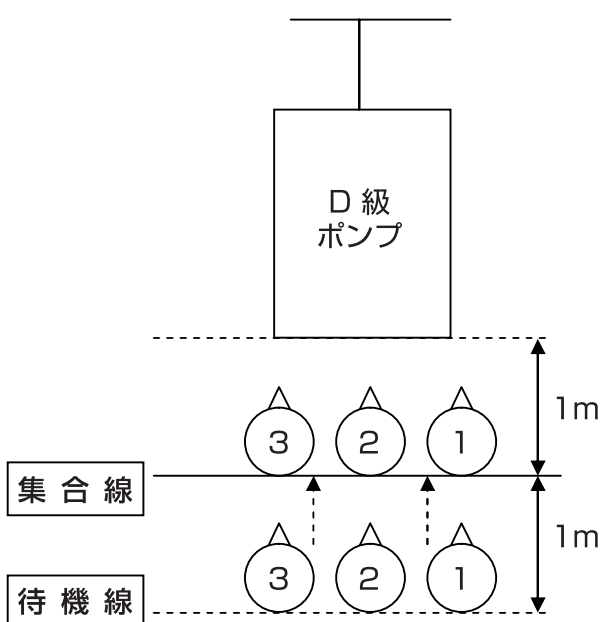
右手を上げ「集まれ」と号令をする（隊員が集合線に概ね揃ったら手を下ろす）。



「集まれ」

1番員、2番員及び3番員は、指揮者の「集まれ」の号令に対して「よし」と呼称し、手を腰にとり駆け足で集合線に移動する。

移動後、自主整頓を行う。整頓が完了したら気をつけの姿勢をとる。



<気をつけの姿勢>

## (3) 点 呼

指揮者は、隊員が気をつけの姿勢をとったら、「番号」と号令をする。

1番員、2番員及び3番員は、指揮者の「番号」の号令で、それぞれ「1」、「2」、「3」と呼称する。

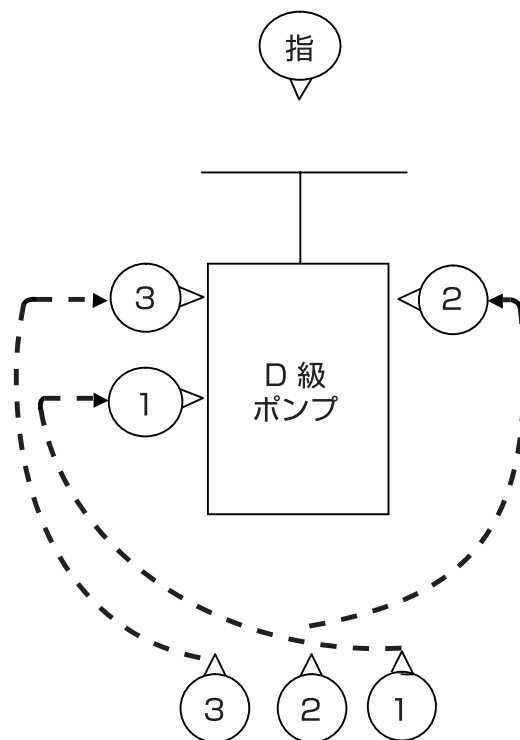
D級ポンプ操法(4名操法)

### 3 操法開始～収納

#### (1) 操法指示及び定位部署

指揮者は、「只今からD級ポンプ操法を行う」と操法を指示した後、「目標、前方の火点、定位につけ」と号令する。

1番員から3番員は、指揮者の「定位につけ」の号令に対して「よし」と呼称し、それぞれポンプ脇に移動する。移動後は、姿勢を正して待機する。









D級ポンプ操法(4名操法)

(2) 操法開始

<p>指揮者</p>	<p>定位についてを確認した後、「操作始め」と号令する。その後、回れ右をして、1番員に先行して火点方向に向かう。</p> <p>放水位置の右斜め前方で停止し、火点（正面）を確認した後、大きく左に向きを変え、火点と各隊員の操作状況を確認出来る位置で姿勢を正す。</p>	
<p>1番員</p>	<p>「操作始め」に対し「よし」と呼称し、ポンプのホース棚から第2ホースを取り出し右脇に抱えた後、筒先を左手に持ち、第2結合部位置まで駆け足で進む。</p>	
<p>2番員</p>	<p>「操作始め」に対し「よし」と呼称し、吸管を3番員と協力してポンプ後方1mにおろした後、第1ホースを放口側におろして、ホースのメス結合部を右足で踏み、オス結合部を持ってホースを延ばす。</p> <p>※3番員だけで吸管を延ばすのが難しい場合は、2番員は吸管の延長を補助する。</p>	
<p>3番員</p>	<p>「操作始め」に対し「よし」と呼称し、吸管を2番員と協力してポンプ後方1mにおろした後、ヨリを戻しながら吸管を延ばす。</p> <p>その後、吸管を両足で挟むようにしてポンプの吸口に結合する。</p> <p>※一人で吸管を延ばすのが難しい場合は、2番員と協力して吸管の延長を行う。</p>	



<p>指揮者</p>	
<p>1番員</p>	<p>第2結合部位置で筒先と第2ホースを地面に置く。          ホースのメス結合部を右足で踏み、オス結合部を持ってホースを延ばす。          オス結合部を一旦地面に置き、左足でオス結合部を踏み、筒先を結合する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>2番員</p>	<p>メス結合部をポンプの放口に結合した後、足元に注意しながらオス結合部を右手に持ち、駆け足で第2結合部位置に進む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>3番員</p>	<p>吸管結合後、吸管ストレーナーを水利に投入し、エンジンを始動させ吸水処置を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

<p>指揮者</p>	
<p>1番員</p>	<p>結合後、筒先を左手で右脇に保持して、右手で余裕ホースをとり、前方を注視し、2番員のホース結合を待つ。</p> 
<p>2番員</p>	<p>第2結合部位置に至ったら、左足で第2ホースのメス結合部を踏み、第1ホースのオス結合部を結合し「よし」と呼称する。</p> 
<p>3番員</p>	<p>吸水完了後、ポンプ計器側で火点を向き、姿勢を正して待機する。</p> 



<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">指揮者</p>	<p>1番員のホース延長が終わる直前に右手で放水位置を指示し、「止まれ」と号令する。号令をした後、火点を向き姿勢を正す。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1番員</p>	<p>2番員の「よし」の合図で「放水始め」と号令し、火点に向かってホースを延ばす。 指揮者の「止まれ」の号令で停止し、余裕ホースを右手で横に投げる。 筒先を両手で保持し、左足を半歩踏み出し、前方を注視して注水姿勢をとる。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2番員</p>	<p>1番員の「放水始め」の号令を復唱し、回れ右をして駆け足で3番員に伝達に行く。 ポンプの手前10mの位置から右手を真上にあげて「放水始め」と呼称し、ポンプ手前2mの位置に至ったら、手をおろして止まる。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3番員</p>	<p>2番員の「放水始め」の伝達に、右手を真上に上げて「放水始め」と復唱する。直ちに放水弁ハンドルを全開にするとともに、スロットルレバーを操作して送水を開始する。</p>	

指揮者	
1番員	
2番員	<p>伝達終了後、回れ右をして駆け足で戻り、1番員の後方に至り、「伝達終わり」と呼称する。その後、ホースを両手で保持し、右足を半歩前方に踏み出して筒先の補助をする。</p> 
3番員	<p>送水操作終了後、ポンプ計器側で火点方向を向き姿勢を正して待機する。</p> <p>※送水中は、送水圧力に異常がないか、圧力計を適宜確認する。</p> 

(3) 放水停止

<p>指揮者</p>	<p>1番員の方向に向きを変え、「放水やめ」と号令する。</p>	
<p>1番員</p>	<p>指揮者の「放水やめ」の号令で筒先ノズルを操作して放水を停止する。ノズル操作後、「放水やめ」と復唱する。 3番員の「放水やめ」の復唱を確認したら、ノズル操作により残水を処理する。</p>	
<p>2番員</p>	<p>1番員の「放水やめ」に「よし」と呼称して、補助していたホースを地面におろし、回れ右をして駆け足でポンプの2m手前に至り停止、右手を水平に横に上げて「放水やめ」と3番員に伝達する。</p>	
<p>3番員</p>	<p>2番員の「放水やめ」の伝達を受け、右手を水平に横に上げて、「放水やめ」と復唱する。</p>	